

## (乙の4) (記載例)

(工作物の新築、改築、除却)

### 1. 河川の名称

荒川水系                      川                      岸

注) 河川名は実際に工作物を設置する河川名を記入。  
左右岸は、上流から見て左右を記入

### 2. 目的

注) 具体的な工作物で〇〇設置のため等を記入。  
あるいは、公園施設の一部の場合は上記を記入。

### 3. 場所

注) 登記簿上の地番を記入するものとし、住居表示での記載はしない。

### 4. 工作物の名称又は種類

注) 主な工作物名を記入。

### 5. 工作物の構造又は能力

注) 「申請書添付図書のとおり」等も可。

### 6. 工事の実施方法

注) 委託工事、直営工事等を記入。  
実施方法の詳細については、添付図書の中で説明。

### 7. 工期

令和    年    月    日から (または許可の日から)

令和    年    月    日まで

注) 工程表に合わせた工期を記入。  
工事期間として〇〇日間でも可。

### 8. 占用面積

### 9. 占用の期間

令和    年    月    日から (または許可の日から)

令和    年    月    日まで

## ○工作物の新築、改築、除却（26条関係）

### （乙の4）

#### 〔記載要領〕

1. 「（工作物の新築、改築、除却）」の箇所には、該当するものに○印を記載すること。
2. 河川の名称  
水系名、河川名、左右岸の別を明記すること。
3. 目 的  
法第26条の許可に係る行為の目的を「○○橋（県道）架設のため」「○○排水樋管設置のため」等のように記載すること。
4. 場 所
  - ① 「字○○○番地先」まで明記すること。
  - ② 河川保全区域内に工作物が及ぶものについては、河川区域内と河川保全区域内とに分けて記載すること。
  - ③ 当該工作物の敷地が数個の「字」にわたる場合は、原則としてそのすべてを記載し、数個の地番にわたる場合に「字」毎に代表的なものを明記すること。
5. 工作物の名称又は種類  
主要な工作物の名称又は種類を明記すること。
6. 工作物の構造又は能力  
主要な工作物についての構造又は能力を記載すること。
7. 工事の実施方法  
工事の実施にあたっての治水上の措置、仮排水路及び工事にあたっての仮設物の措置並びに施工の順序等について工事工程表に照応するよう具体的に記載すること。
8. 工 期  
特別の事情のない限り工期の変更を申請することのないように工事工程表を適確に作成し、これにより工期を決定して記載すること。
9. 変更許可申請の場合  
変更しない部分についても記載し、かつ、変更する事項については変更前のものを赤色で併記すること。